



主張するセルフ・アドボケートたち

No.1

「日本初“ダウン症のタレント”として活動してます」

安部 健太 (26歳・東京都)

今月号から、ダウン症のある人たちに自分の言葉で主張していただく新コーナーを設けました。まずは、3月20日のイベントで堂々とメッセージを伝えてくれた4名の方に、順に登場してもらいます。

東京都世田谷区に住んでいる安部健太です。4月で26歳になりました。

僕は今、三田の「クレオソリューション」という会社で働いています。総務グループで、毎日パソコンや、掃除の仕事を一生涯懸命やっています。会社の人たちはみんないい人達で、僕は会社が好きです。

僕は色々なことに挑戦しています。水泳は小さな時からやっていて、バタフライも泳げます。そして絵も習っています。人や動物を描くのが好きで、いつか、個展をやるのが夢です。早稲田大学でレスリングもやっています。このあいだも京都まで試合に行ってきました。ダウン症の友達一杯いて楽しいです。それから、ケイプランニングというプロダクションで、歌やお芝居のレッスンを受けています。去年、NHKの「バリバラ」というTV番組にも出て、とっても面白かったです。

僕は5年前に運転免許証を取りました。運転の試験はすぐ受かりましたが、最後の学科の試験は、とっても難しくて何度も落ちました。でも絶対取りたかったので、頑張って勉強しました。55回目にやっと受かった時は、すっごく嬉しかったです。でも、怖いから今は運転

はしていません。

僕は、ダウン症は大好きですが、知的障害という言葉は大嫌いです。なんか頭が変だって言われてるみたいで嫌いです。言い方を変えてほしいです。

おとし、母が事故で急に亡くなり、とっても悲しくて泣いてしまいました。でも父や姉や兄、そしてその家族がいてくれるので、毎日明るく頑張っています。

僕の将来の夢は、可愛い彼女をつくって結婚する事です。

父には「部屋も片づけられない奴には、結婚なんて無理だ」と言われているので、頑張って部屋を片付けます。

これからも明るく、元気に、楽しく、生きていきます！！



プロフィール

小・中学校は普通学級へ。その後、横浜のフリースクールで5年間学ぶ。就労支援センターで訓練後、IT関連の会社に勤め、総務グループに所属。絵を習い、JDS紹介の早稲田レスリング教室にも参加。現在はハンディキャップのあるタレントが所属する芸能プロダクションのタレントとして、テレビ番組にも出演し、活躍中。趣味はカラオケ、ゲーム、ものまね。